

マルハナバチのなかま

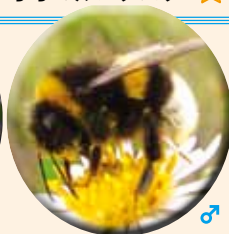
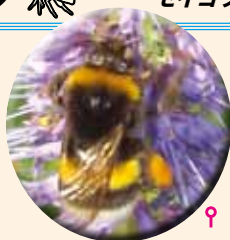
※ ♀ は働きバチ、♂ はオスバチ、
♀ は女王バチを示す。

花と深い関わりを持つハチのなかま。体の色のパターンで5つのタイプに分けています。外来種が増えてきていますが、在来種も多く観察することが出来ます。

外来タイプ

セイヨウオオマルハナバチ ★

外来種



- ♪ お尻が白いのはこのタイプのみ。
- ♪ 胸の黒地にレモンイエローの帯がよく目立つ。
- ♪ オスとメスは似ている。

場所 開けた環境を好み、農村部や大きな公園、庭などに多い

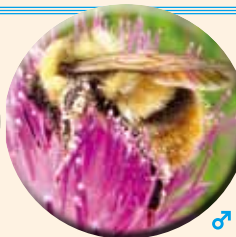
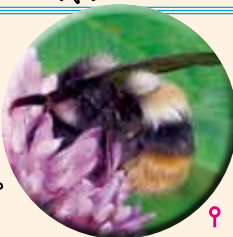
時期 4~10月 8月にはオス♂も出てくる

花 ラベンダー、ムラサキツメクサ、オオハンゴンソウ、コスモスなど

※トマトなどの受粉を助けるために導入された種で、野外に逃げたものが増え、在来種への悪影響などが心配されています。外来生物法に基づく「特定外来生物」に指定され、生きたまま持ち運ぶことなどが禁止されています。

三色タイプ

3種が含まれる。市街地はエゾコマルハナバチが多い。



エゾオオマルハナバチ ★

- ♪ 黒と白の縞模様で、お尻はオレンジ色。
- ♪ オスは全体に黄色味がかかって、トーンがはっきりしない。

場所 開けた環境を好み、どのような場所でもよく見られる

時期 4~10月

花 クローバー、ハマナスなど、さまざまな花を利用する




エゾコマルハナバチ ♀ ★

- ♪ オオマルに似ているが、働きバチのえりの白が薄い。
- ♪ 7月後半には数が減り、黄色タイプのオスが出てくる。

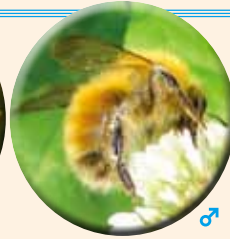
エツヒメマルハナバチ ♀ ★★★★★

- ♪ 女王がオオマルに似ているが、胸と腹のつなぎ目が白い。
- ♪ 高山でしか見られない。
- ♪ 働きバチは灰色タイプ。



● **赤色タイプ** 

アカマルハナバチ ★★★




- ♪メスは全身赤みの強いオレンジ色で、お尻が黒い。
- ♪オスは赤みが薄いオレンジ色で、お尻の黒は目立たない。

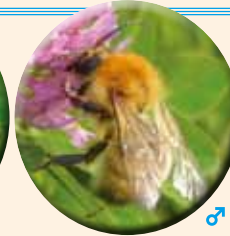
場所 低地から高山まで 市街地でも見られるが少ない

時期 4~7月 8月以降はほとんど見られない。

花 夏はシロツメクサやラベンダーの花で見られる

● **黄色タイプ** 

街ではエゾコマルハナバチのオスがよく見られる。



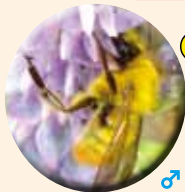
● **エゾトマルハナバチ** ★★

- ♪全身薄いオレンジ色。
- ♪顔が長く、舌も長い。
- ♪オスとメスはよく似ている。

場所 低地から亜高山まで分布するが、市街地では少ない

時期 6~9月

花 キツリフネやエソトリカブトなど、長い花を好む



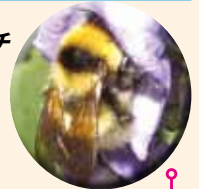
● **エゾコマルハナバチ** ♂ ★


- ♪全身明るい黄色で、お尻だけオレンジ。
- ♪8月中旬には見られなくなる。

○ **エゾナガマルハナバチ**

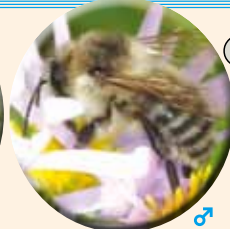
★★★★

- ♪黄色味を帯びた灰色。
- ♪顔が長い。
- ♪主に高山に生息する。



○ **灰色タイプ** 

市街地はニセハイロマルハナバチが多い。



○ **ハイロマルハナバチ (類)**

★

- ♪全身灰色だが、むねは毛が少なく黒っぽく見える。
- ♪ハイロマルハナバチとニセハイロマルハナバチの2種がいる。野外での区別は難しいが、市内ではニセハイロマルハナバチが多いと言われる。

場所 低地の開けた場所に多い

時期 6~10月 見られる時期がやや遅い

花 クローバーやクサフジなどのマメ科の花

チョウのなかま

※「大きさ」はハネを広げた時の幅。

チョウの幼虫は種類ごとに食べる植物（食草・食樹）がおおよそ決まっているので、その植物の周りをさがしてみましょ。成虫になると花や樹液に集まります。



指 キアゲハ ★

- 場所** 食草がある庭先や草むらなど
- 時期** 5～9月（年3回羽化）
- 大きさ** 約6～9cm

♪ 食草はミツバやニンジンなどのセリ科の植物。

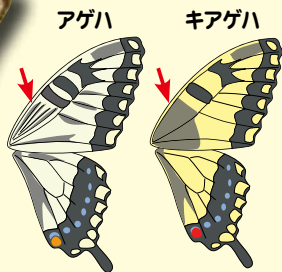
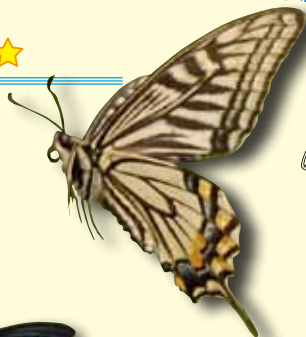
にている種 アゲハ

♪ キアゲハは前バネのつけねが全体に黒くなり、アゲハは黒い線が入る（下図の→）。

アゲハ（ナミアゲハ）★★

- 場所** 庭先など
- 時期** 5～9月（年3回羽化）
- 大きさ** 約6～8cm

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。



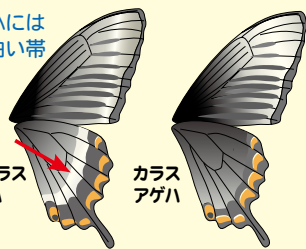
ミヤマカラスアゲハ★★

- 場所** 森林や林道などに多い
- 時期** 5～9月（春と夏に羽化）
- 大きさ** 約7～11cm

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。
♪ アザミ類の花をよく訪れる。

にている種 カラスアゲハ

♪ ミヤマカラスアゲハには後ろバネのうらに白い帯がある（→）。



♪ 林道の上で集団で吸水する姿がよく見られる。

👉 モンキチョウ 🦋 ★

場所 川沿いや公園、道ばたの草むらに多い

時期 5~10月(年3、4回ほど羽化)

大きさ 約5cm

- ♪食草はシロツメクサなどのマメ科の植物。
- ♪オスは黄色いハネをもち、前パネのふちが黒くなる。メスのハネは白いものが多い。

にている種 シロチョウのなかま (下記参照)



🦋 シロチョウのなかま

モンキチョウ以外にも、市内でよく見られるシロチョウのなかまがあるので、見分けてみましょう!

モンシロチョウ

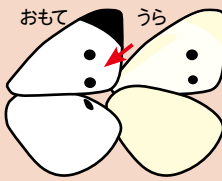


- ♪白い前パネの先は三角の黒い模様がある。
- ♪前パネの両面には、黒い紋がある。

モンキチョウ



モンシロチョウ



オオモンシロチョウ



- ♪前パネの表とうらに2つの黒い斑がある(▲)。
- ♪より大型で、三角の模様も大きい(▲)。

スジグロシロチョウのなかま

※このタイプは2種(スジグロシロチョウ・エゾスジグロシロチョウ)・季節(春型・夏型)・性(オス・メス)で、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ の組み合わせがあるので、くわしく知りたい場合は、市販の図鑑をみよう!



- ♪脈の黒い線が目立つ。

スジグロシロチョウ 夏型・おもて



スジグロシロチョウ うら



エゾスジグロシロ チョウ うら



- ♪メスは前パネの先の黒い模様や黒い斑が大きい(▲)。
- ♪スジグロは、前パネに黒い模様があり、付け根は一部灰色(▲)。
- ♪エゾスジグロは脈の線が太い。

エゾシロチョウ



エゾシロチョウ

- ♪大きさは約6.5cmで最も大型。
- ♪黒いくっきりした脈を持つ。
- ♪リンブンが少なく、ハネが透けて見える。
- ♪幼虫はバラ科の葉を食べ、リンゴなどで幼虫が大量発生する年がある。



ベニシジミ ★

場所 川沿いや公園、道ばたの草むらに多い

時期 5～9月（年3回ほど羽化）

大きさ 約3cm

- ♪食草はエゾノギシギシなどのタデ科の植物。
- ♪前バネは両面ともオレンジ色に黒い模様がある。
- ♪夏に羽化するものはやや黒みが強くなる。

クジャクチョウ ★★

場所 草地や川のそばなど

時期 3～6月（越冬個体）、7～10月

大きさ 約5～6cm

- ♪食草はイラクサ科の植物、カラハナソウ。
- ♪成虫はキク科の花などでよく見られる。
- ♪成虫で越冬する。
- ♪ハネに大きな目玉模様がある。裏側は黒っぽい。



コムラサキ ★★★

場所 ヤナギ林のある川のそば

時期 7～8月

大きさ 約6cm

- ♪食樹はヤナギ科の樹木。
- ♪川沿いで吸水する姿も見られる。
- ♪オスのハネは、見る角度によって紫色にかがやき美しい。メスにはこうした光沢はない。



ミドリヒョウモン ★★★★

場所 平地や山地の森林や周りの草地

時期 7～9月

大きさ 約6cm

- ♪食草はスミレ科の植物。
- ♪成虫はキク科の花などでよく見られる。

にている種 オオウラギンスジヒョウモンなど



♪後バネに
白いすじ

ミドリ
ヒョウモン

オオウラギンスジ
ヒョウモン

♪ハネの表面は
オレンジと黒の
ヒョウ模様。



♪ヒョウモンチョウは、表面はにている種類
が多いが、うら面の違いが大きい。

➡ くわしく知りたい場合には、市販の図鑑をみてみよう!



トンボのなかま



※「大きさ」は頭から尾の先までの長さ。

幼虫(ヤゴ)は水の中で育ち、成虫は空を飛び回ります。水辺に多い!



オニヤンマ ★★★

場所 小川や溪流沿い

時期 成虫は7~8月

大きさ 約7~9cm

♪ 目は緑色、体はトラ模様。

にている種 コオニヤンマ

オニヤンマの顔 (正面)



コオニヤンマの顔 (正面)



♪ 両目が接している。

♪ 両目が離れている。

♪ よく川沿いのなわばりを行ったりきたりして飛んでいる。

オオルリボシヤンマ ★★★

場所 沼や池、流れのゆるい川のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約7~8cm

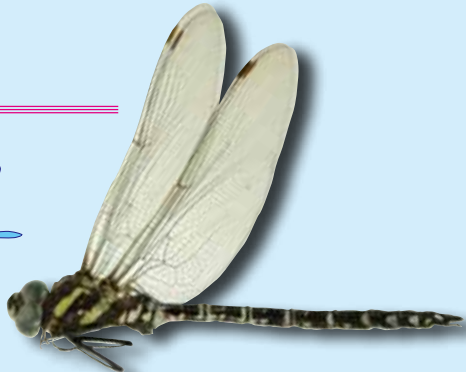
♪ 体は、黄緑と黒のストライプ。
メスには青と黒のタイプもある。

♪ むねの様子は先がふくらむ
(右図: →)。

にている種 ルリボシヤンマ



むねの様様



ルリボシヤンマ ★★★

場所 沼や池、湿地のそば

♪ 成虫の時期や大きさは、オオルリボシヤンマとほぼ同じ。

♪ むねの様子は先がほそくなる
(右図: →)。



いわゆる「赤トンボ」にもいろいろな種があります。見分けてみましょう!

アキアカネ 🦋★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 成虫は7~10月

大きさ 約4cm

♪ 成熟すると赤くなる。メスは黄色のままのこともある。

にている種 ナツアカネ・マユタテアカネ



むねの模様

♪ 真ん中の黒い模様は、先が細くなる。

ナツアカネ 🦋★★★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 アキアカネよりもやや早い

大きさ 約4cm

♪ アキアカネに比べ、顔を含めて体全体が赤くなる。

むねの模様



♪ 真ん中の黒い模様は、先まで太い。



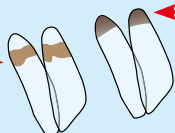
ミヤマアカネ 🦋★★★

場所 平地の川沿いや池のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約3.5cm

♪ ハネの先より内側に茶色い帯。



ノシメトンボ 🦋★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 成虫は7~10月

大きさ 約4cm

にている種 ミヤマアカネ・コノシメトンボ

♪ ノシメトンボとコノシメトンボはハネの先が黒い。

ノシメトンボ



♪ むねの中央に黄色の太い模様。



コノシメトンボ

♪ ノシメトンボよりもやや小さい。
♪ 市内では少ない。

マユタテアカネ 🦋★★★

場所 平地の川沿いや池のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約3.5cm

♪ アキアカネやナツアカネに比べて、体が小さく、おなかも細い。



♪ 顔の正面に黒い模様があることが多い。

★ =よく見る!

★★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

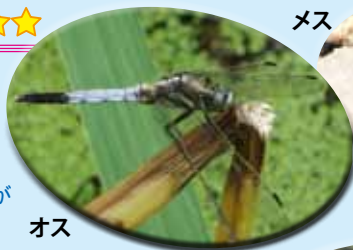
指 シオカラトンボ ★★★

場所 市街地の川沿いでも見られる

時期 成虫は6~9月

大きさ 約5cm

♪オスは黄色から白青色になり、腹の先が黒い。メスはふつう黄色のまま。



オス



メス

♪ハネのふちが黄色い。

にている種

シオヤトンボ ★★★

ヨツボシトンボ ★★★

シオヤトンボ

♪シオカラトンボより小さく、おながが太い。出現時期が早い(5~8月)。



ヨツボシトンボ

♪シオカラトンボに比べ、おながが短くて太い。出現時期が早い。

イトトンボのなかま

市内で見られるイトトンボ(亜目)のなかま(15種程度)のうち、よく見られる3つを紹介!

アオイトトンボ ★★★

場所 平地や山地の池や湿地

時期 成虫は7~9月

大きさ 約4cm

♪体全体が金属のような光沢がある。成熟したオスは粉をまとい青白く見える。

オス



メス



にている種 ニホンカワトンボ 48ページ参照

オツネイトトンボ ★★★

場所 池や湿地のそば。市街地でも見られる

時期 成虫はほぼ一年中 **大きさ** 約3.5cm

♪名前のとおり、成虫で冬を越す。体色は、茶色っぽくて目立たない保護色をしている。



イトトンボ科のなかま ★★★

場所 平地や山地の池や湿地

時期 成虫は5~9月 **大きさ** 約3~4cm

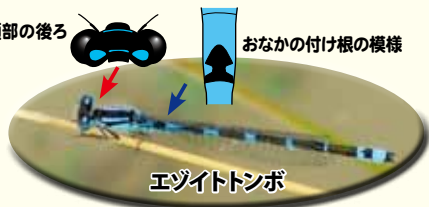
♪イトトンボ科のトンボは市内に9種いる。

♪黒と水色のしま模様の種が多く、よく似ている。

♪頭部の後ろの模様(↙)や、おなかの付け根の模様(↘)で見分ける。

頭部の後ろ

おなかの付け根の模様



エゾイトトンボ

→ くわしく知りたい場合には、市販の図鑑をみてみよう!



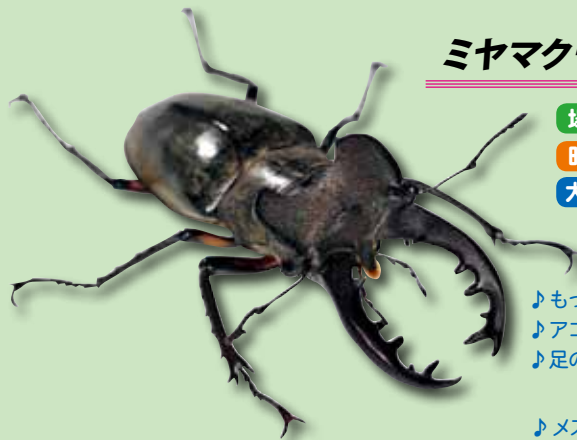
クワガタのなかま



※「大きさ」はアゴを含めた長さ。

みんな見つけたい昆虫の王さま。本にはよく「クヌギ・コナラの木をさがそう」と書いてありますが、北海道ではミズナラ・ハルニレ・ヤナギなどの木にいます。

ミヤマクワガタ ☆☆



- 場所** ミズナラやハルニレの木
- 時期** 7月に多い、8月はメスばかり
- 大きさ** 約3~7.5cm

- ♪もっとも大型になる。
- ♪アゴの形は3タイプある。
- ♪足のもの裏側が黄色い。



♪メスは黒っぽく光沢がある。

メス

アカアシクワガタ ☆☆

- 場所** ヤナギやハルニレの木
- 時期** 7~9月
- 大きさ** 約3~5.5cm

- ♪足のもの裏とおなか赤い。
- ♪街灯によく飛んでくる。



ノコギリクワガタ ☆☆☆☆

- 場所** 川の周辺のヤナギなど
- 時期** 7~8月
- 大きさ** 約3~7cm

- ♪赤みがかったものが多い。
- ♪アゴの大きさはさまざま。

クワガタの見分け方 ♪このほか、札幌にはヒメオオクワガタ、オニクワガタなどがある。

トゲが多い エラがはっている
トゲが細かい
先に2,3個 中ほどに1個
台形型
毛が生える
体が赤い
足の裏が赤い
やや平たい
小さいものはスジがある

ミヤマクワガタ **ノギリクワガタ** **アカアシクワガタ** **コクワガタ** **スジクワガタ**



コクワガタ ★★★

場所 市街地の公園など

時期 5~9月

大きさ 約2~5cm

♪黒っぽい。アゴのトゲは一つ。
♪街灯によく飛んでくる。



スジクワガタ ★★★

場所 ハルニレやヤナギなどの木

時期 5~9月 ♪小型のオスとメスは背中にスジが入る。

大きさ 約1.5~3cm ♪よく地面を歩いている。



カブトムシ ★★★ **外来種**

場所 街灯の下など

時期 7~9月

大きさ 約5~8cm

※北海道には元々いなかった虫で、本州から持ち込んだものが逃げるなどして増えています。



バッタのなかま



※「大きさ」は体の長さ。
ハネが長い場合ハネまで

川沿いや空き地の草むら、庭先、森のそばの草むらなどをさがしてみましよう!



ハネナガキリギリス



★★★★

場所 川沿いや森のそばの草むら

時期 成虫は7~9月

大きさ 約4~5cm

♪メスはおなかの先に刀のような産卵管がある。

にている種 ツコムシ、クサキリ類

♪ツコムシは大きさ3cmほどで小さい。

♪クサキリ類は、大きさ3~4cmほどで、
頭は横から見ると三角形。



トノサマバッタ



★★★

場所 草むら、荒地、空き地など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約4.5~6cm



茶色タイプ(褐色型)

♪緑色と茶色の2タイプがある。

♪後ろ足のつけね付近に耳がある。

♪シヤッ、シヤッ

カンタン



★

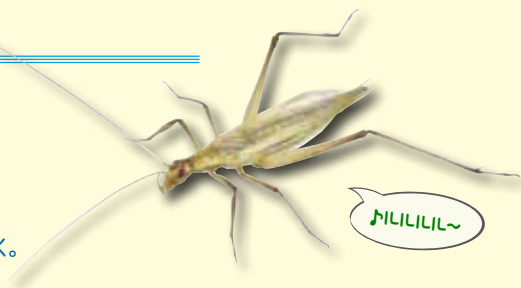
場所 草むらの葉や花の上など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約1~2cm

♪コオロギの仲間。オスがよく鳴く。

♪秋になると、夜だけでなく日中もさかんに鳴く。



♪LILILIL~

サッポロフキバッタ



★★★

場所 山地の草むら

♪ハネを持たない。

時期 成虫は6~9月

♪目から背中にかけての黒いすじが目立つ。

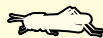
大きさ 約2~3cm

♪幼虫は体が黒い。



幼虫

ヒナバッタ



★

場所 草むら、荒地、空き地など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約2~2.5cm



♪ジュジュジュ、ジュジュ

ミカドフキバッタ

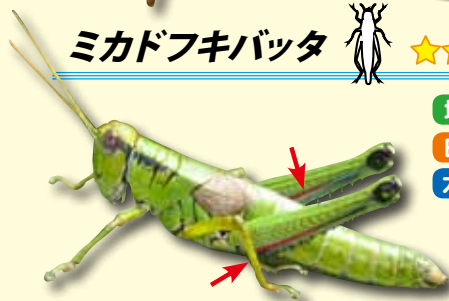


★★★

場所 山地の草むら

時期 成虫は6~9月

大きさ 約2~3.5cm



♪ハネは短い。

♪後ろ足の内側や側面が赤い(➡)。

♪全体はうす茶色で、おなかには白と黒の縞模様。
♪背中に白い“><”という模様(➡)がある。
♪ハネに白い模様(➡)が入る。

ハネナガフキバッタ



★★★★

場所 山地の草むら

時期 成虫は7~9月

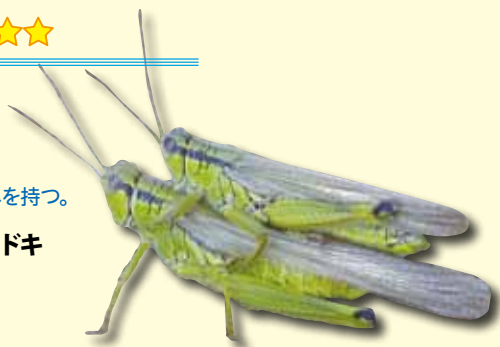
大きさ 約2.5~4cm

♪名前のとおり、体をはみ出すほどの長いハネを持つ。

にている種 コバネイナゴ・イナゴモドキ

♪コバネイナゴは一回り小さい。後ろバネはふつう、お腹の先を越えない。

♪イナゴモドキの前足は細くて長い。



ケラ



★★★★

場所 草むら、空き地など

時期 成虫は6~9月

大きさ 約3cm

♪前足はモグラのように土をほりやすい形をしている。

♪ピロードのような細かい毛が生えている。

♪夜行性で、オスもメスも鳴く。



♪ジュー



セミのなかま



※「大きさ」はハネを含めない長さ。

セミのなかまは、成虫も幼虫も樹木との関わりが深い昆虫で、札幌市内で10種が確認されています。主に本州以南に多い南方系のセミも5種含まれています。羽化した後に残された「ぬげがら」でも種類が調べられます(28・29ページ)。

指 エゾハルゼミ ★

場所 低地～山地の森林

時期 5～7月

大きさ 2.3～3.7cm

♪北海道を代表するセミの一つ。
♪初夏にうるさく鳴いているのはこのセミ。

♪ミョーキン、ミョーキン、
ミョーケケケケ...



羽化の様子



指 コエゾゼミ ★

場所 低地～山地の森林

時期 7～9月

大きさ 3.4～3.8cm

♪夏にうるさく鳴いている。
♪庭や公園でも見られる。

エゾゼミ ★★

場所 低地～低山地の森林

時期 7～8月

大きさ 4.0～4.6cm

♪中胸の側面に白い粉(→)。
♪低い声で鳴く。
♪特に東部の低地に多い。

アカエゾゼミ ★★★

場所 低山地の広葉樹林

時期 7～8月

大きさ 3.9～4.4cm

♪全体に橙色が強い。
♪天然林に生息し、市内では少ない。



♪胸の模様
に切れ目(→)
がある



♪ギー……



♪ビーーン

♪ジー……(ビーーン)

アブラゼミ



場所 市街地、公園、河畔林

時期 7~8月

大きさ 3.4~4.0cm

- ♪ 本州に多い南方系のゼミ。
- ♪ ハネが茶色く、ハルニレやサクラを好む。
- ♪ 低地の公園で見られる。



トシシシシ...

エゾチッチゼミ

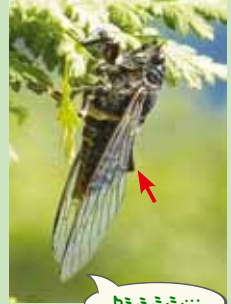


場所 山地のがけ地

時期 7~9月

大きさ 2.0~2.8cm

- ♪ ハネをたたむと後ろバネが三角形に飛び出す(→)。
- ♪ 鳴きながら飛び移る。
- ♪ 市内では少ない。



トシシシシ...

過去の生き物さがし(2019~22年)の結果

種名	地区数(データ数)	種名	地区数(データ数)
エゾハレゼミ	170地区(404)	ミンミンゼミ	16地区(38)
エゾゼミ	63地区(129)	アカエゾゼミ	13地区(18)
コエゾゼミ	61地区(91)	エゾチッチゼミ	3地区(7)
アブラゼミ	50地区(139)	ニイニイゼミ	2地区(3)
ツクツクホウシ	17地区(36)	ヒグラシ	2地区(2)

※地区は1km四方を単位としている。

南方系で、市内の限られた場所で報告があるゼミ



ミンミンゼミ



場所 山地の森林

時期 7~8月

大きさ 2.9~3.9cm

- ♪ 黒地に緑色の模様。
- ♪ 定山溪で確認。



トミンミンミンミンミー...

ツクツクボウシ



場所 河畔林

時期 7~8月

大きさ 2.6~3.3cm

- ♪ 真駒内公園周辺で確認。



トククククボウシ、ククククボウシ...
ククククボウシ、ククククボウシ、クククク...

ニイニイゼミ



場所 公園など

時期 7~8月

大きさ 2.0~2.6cm

- ♪ ハネに茶色の模様がある。
- ♪ 明け方と夕方によく鳴く。
- ♪ 北海道神宮で確認。



トトトト...

ヒグラシ



場所 低地の森林

時期 7~8月

大きさ 2.3~3.9cm

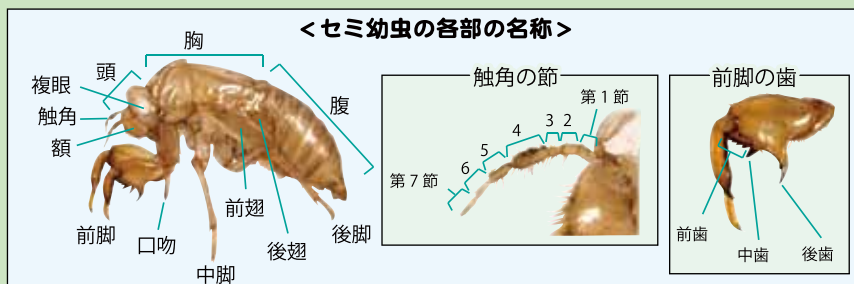
- ♪ 腹の先に白い粉(→)。
- ♪ 明け方と夕方によく鳴く。
- ♪ 北海道神宮・円山公園で確認。



トトトトトト...

さっぽろのセミのぬけがらの見分け方

使い方: ①から始めて、aとbどちらか当てはまる方を選んで進んでください。細かい部分を見るときはルーペを使ってください。ぬけがらの写真は、ほぼ実寸大です。



① a. 体は丸く、全体が泥におおわれる。



ニイニゼミ

b. 体は細長く、全体が泥におおわれることはない。



②へ

② a. 前脚の中歯がとがらない。胸部と腹部の節に黒褐色の縁取りがある。



エゾチックゼミ

b. 前脚の中歯が鋭くとがる。



③へ

③ a. 腹部先端が尾状に突出する。体に光沢がない。額が大きく膨らむ。



ツクツクボウシ

b. 腹部先端が尾状に突出しない。



④へ

④ a. 触角第4節が最も長い。



⑤へ

b. 触角第4節が最も長くはない。

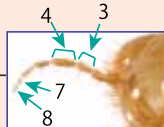


⑥へ

- ⑤ a. 触角は7節で、第4節の長さは第3節の約2.5倍。



- b. 触角は8節で、第4節の長さは第3節の2倍より短い。



エゾハルゼミ



ヒグラシ

- ⑥ a. 前脚の前歯と中歯が連続する。触角は7節。



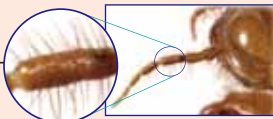
⑦へ

- b. 前脚の前歯と中歯が離れる。触角は8節。



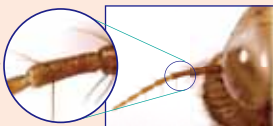
⑧へ

- ⑦ a. 触角は太く、毛が多い。



アブラゼミ

- b. 触角は細く、毛が少ない。



ミンミンゼミ

- ⑧ a. 体長は30mm未満。体に光沢がなく、黒い模様がある。



体長

- b. 体長は30mm以上。体に光沢がある。

⑨へ

- ⑨ a. 体は赤褐色。

- b. 体は黄褐色。



コエゾゼミ*



アカエゾゼミ*



エゾゼミ*

*区別が非常に難しい種類です。正確な同定には他の部分も調べる必要があります。



札幌市内のセミの分布については、市民参加型の調査「札幌市セミ調査」（札幌市博物館活動センター・札幌昆虫自然史研究会）も2008～2010年と2019～2020年に実施されています。札幌市博物館活動センターのHPや調査結果紹介のパンフレットなどをご覧ください。